



2024年4月12日

各位

会社名 株式会社セイヒョー
代表者名 代表取締役社長 飯塚周一
(コード番号：2872 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員管理部長 安藤力
TEL 025-386-9988

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2025年2月期（第114期）を開始初年度とする3カ年の「中期経営計画2027」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 戦略的推進事項

当社は、第114期事業年度から第116期事業年度を対象とした「中期経営計画2027」を新たに策定し、以下の7項目を戦略的推進事項として徹底取り組みを実施することといたしました。事業環境等に左右されることなく常に安定的な利益の確保に努める経営戦略と、全社員が自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを両立し、さらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

- 事業領域の拡大
- 販売単価を上昇
- 変動費の抑制・圧縮
- 販売数量アップ
- 新製品の展開
- 原価率引き下げ
- 費用対効果の改善

2. 数値目標

	2025年2月期	2026年2月期	2027年2月期
売上高（千円）	4,300,000	4,500,000	4,700,000
営業利益（千円）	70,000	85,000	100,000
営業利益率	1.6%	1.8%	2.1%
当期純利益（千円）	68,000	72,000	80,000
自己資本利益率（ROE）	5.1%	5.3%	5.6%

3. その他

詳細については、添付資料をご確認ください。

以上



中期経営計画2027

(2024年3月～2027年2月)

2024年4月12日

株式会社 **セイヒョー**

- 1. 中期経営計画Creative2024の振り返り**
- 2. 基本方針**
- 3. 当社の目指すべき姿**
- 4. 成長戦略**
- 5. 数値目標**

1. 中期経営計画Creative2024の振り返り



- ▶ブランド力を高め、さらなる企業価値向上に努める。
- ▶地元新潟にしっかりとした基盤を持ち、新潟から「美味しい、楽しい、感動」を発信する。
- ▶環境等に左右されることなく、常に安定的な利益の確保に努める。
- ▶当社の強みを正しく捉え、環境の変化に対応し、顧客満足度の向上に努める。
- ▶全社員が自身と会社の成長を実感でき、働きがいのある職場環境づくりに努める。

重点施策

- ① 製品開発力の強化
- ② 自社製品の販売強化
- ③ 生産工場の生産性の向上
- ④ 品質管理体制の強化
- ⑤ 物流体制の強化
- ⑥ 新規事業の開拓

重点施策の実施取組事項

- 季節限定新商品の定期投入
- 販売エリアの拡大、WEBマーケティングの活用
- 独立した生産管理部門の立ち上げ
- 食品安全チームによる内部監査の強化
- 倉庫管理ロケーションの効率化
- 冷凍野菜（冷凍茶豆）製造販売の開始

1. 中期経営計画Creative2024の振り返り



3か年（2022年2月期～2024年2月期）推移

	2024年2月期		2023年2月期		2022年2月期	
	実績(百万円)	売上高比率	実績(百万円)	売上高比率	実績(百万円)	売上高比率
売上高	4,256	-	4,192	-	3,957	-
売上原価	3,534	83.0%	3,599	85.8%	3,321	83.9%
売上総利益	721	16.9%	593	14.1%	636	16.0%
販管費	666	15.6%	582	13.8%	579	14.6%
営業利益	54	1.2%	11	0.2%	56	1.4%
経常利益	66	1.5%	32	0.7%	69	1.7%
当期純利益	61	1.4%	20	0.4%	63	1.5%

- 自社ブランドのアイス製品の販売が大きく伸長し、2021年2月期比で39.6%増。
- 2023年2月期以降、急激な物価上昇や為替変動により、一時的に収益圧迫となったが、以降の価格改定等の施策により、2024年2月期においては改善済み。
- 次年度以降においても、物価上昇・法令改正等（主に物流2024年問題）による影響により、収益環境は厳しいものと予想。
- 製造工場での原価改善はまだ道半ばであり、次年度以降も同改善を推進し、収益向上に注力。

2. 中期経営計画2027 基本方針



<セイヨー企業理念>

- 一、企業活動を通じて社会に貢献し、親しまれ、信頼される会社を目指します。
- 一、過去にとらわれることなく、常に前進する会社を目指します。
- 一、創造的で活力のある会社を目指します。

基本事項

1. 常にお客様の立場に立って行動します。
2. 常に「安全・安心・おいしい商品」を提供してゆく。
3. [透明・健全で社会から信頼される企業]になる。
4. 資源を大切にして環境との調和をはかることによって共生に努める。
5. 組織・個人の活力と能力を高め、伸ばしてゆく。

3. 中期経営計画2027 当社の目指すべき姿

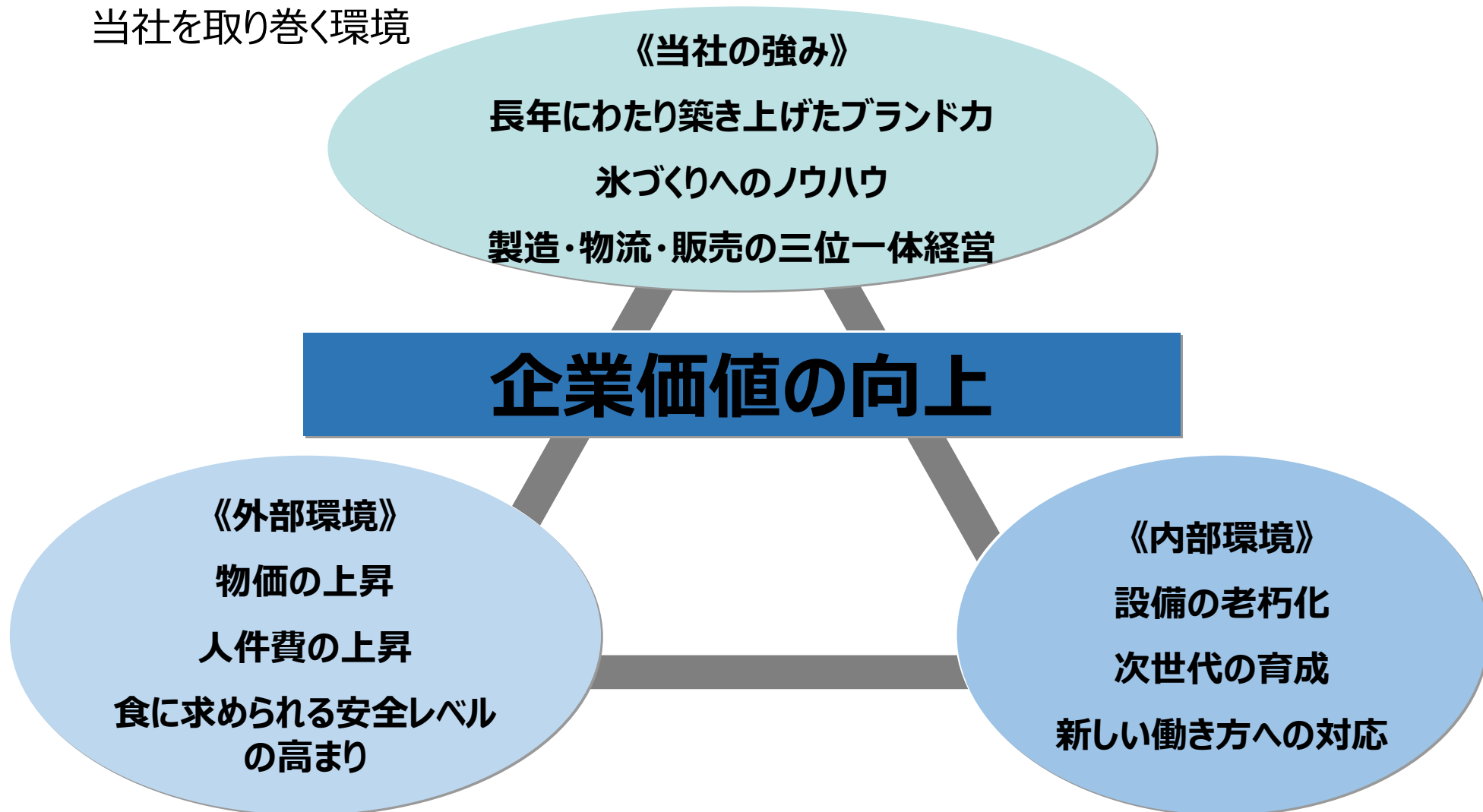


- **環境等に左右されることなく、常に安定的な利益の確保に努める**
 - **当社の強みを正しく捉え、環境の変化に対応し、さらなる企業価値向上に努める**
 - **全社員が自身と会社の成長を実感でき、働きがいのある職場環境づくりに努める**
- 上記3項目を基本事項として、「中期経営計画2027」を新たに作成し、当社の目指すべき姿、及び戦略的推進事項を実行し、さらなる企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。

3. 中期経営計画2027 当社の目指すべき姿



当社を取り巻く環境



4. 中期経営計画2027 成長戦略



以下の7項目を戦略的推進事項として、徹底取り組みを実施

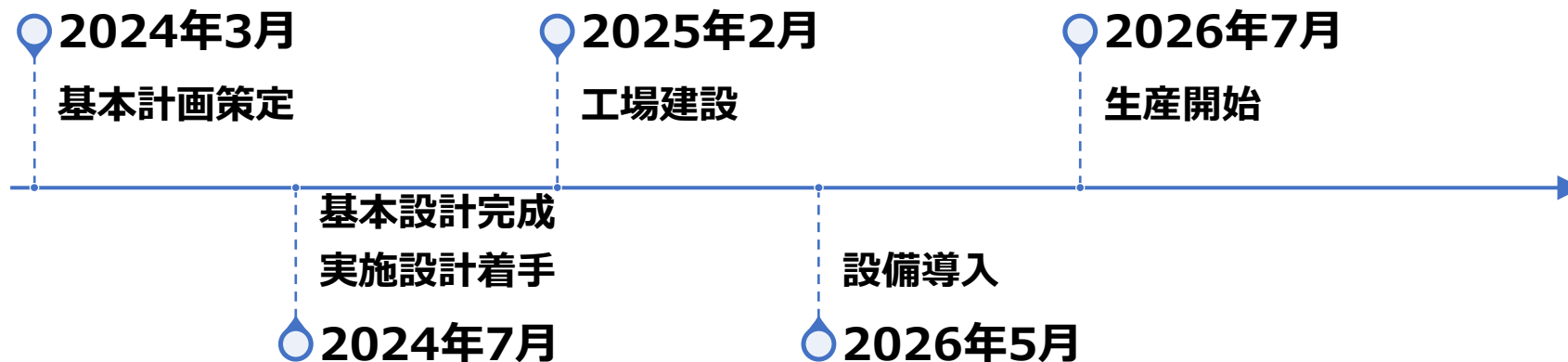
- **事業領域の拡大**
 - 既存事業の強化
 - 新工場建設による領域拡大
- **販売単価を上昇**
 - 売価（納価）コントロール
 - 付加価値の創出
- **変動費の抑制・圧縮**
 - 組織再構築
 - 自動化・省力化（人的・モノ）
 - 生産性向上（人的・モノ）
- **販売数量アップ**
 - シェアアップ
- **新製品の展開**
 - 高付加価値品の投入
 - 新製品の投入
- **原価率引き下げ**
 - 集中購買
 - 処方変更、原料の共用化
 - 不良品の削減
 - 物流費の適正化
- **費用対効果の改善**
 - 販促、広告宣伝効果改善

4. 中期経営計画2027 成長戦略



成長戦略的推進プロジェクト 『新工場建設』

製造効率・品質管理の向上を図りつつ、将来的・社会的な人材不足への対応にむけ、省力化・省人化、環境に配慮した設備により、高品質かつ低コストの安心安全な製品を供給できる新工場の建設計画を進行。

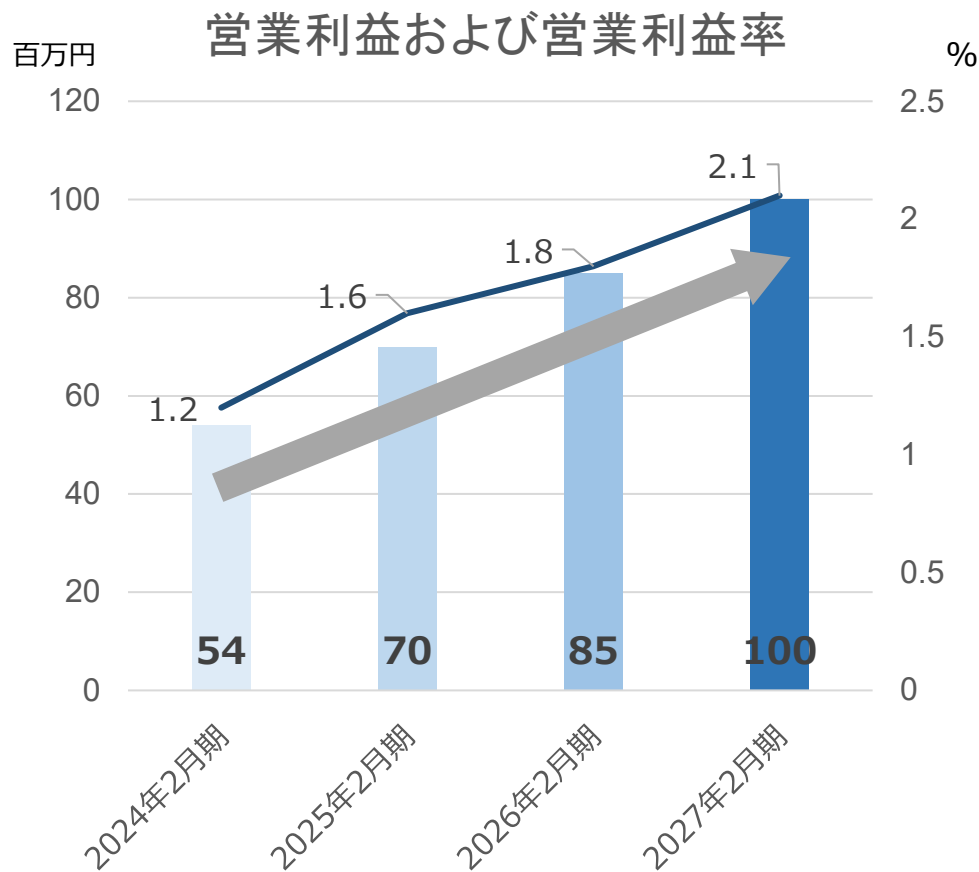
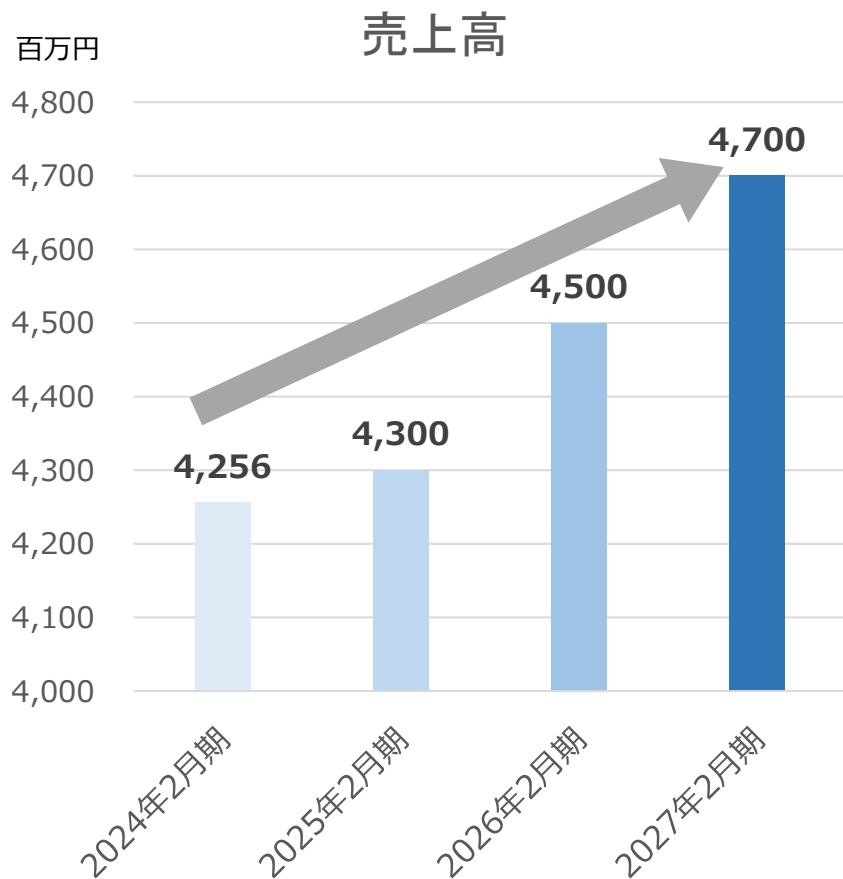


注) 工場建設プロジェクトは中期経営計画2027の対象期間と重複しておりますが、工場建設にかかる精緻な費用概算の算出が完了しておらず不確定要素が大きいため、本中期経営計画の前提条件に新工場建設に関する要素は含んでおりません。

5. 中期経営計画2027 数値目標



2027年2月期に営業利益率2.1%を目指す



■ 営業利益 (百万円) — 営業利益率 (%)

5. 中期経営計画2027 数値目標



数値目標推移

	2024年 2月期(実績)	2025年 2月期	2026年 2月期	2027年 2月期
売上高(百万円)	4,256	4,300	4,500	4,700
営業利益(百万円)	54	70	85	100
営業利益率	1.2%	1.6%	1.8%	2.1%
当期純利益(百万円)	61	68	72	80
自己資本利益率 (ROE)	4.8%	5.1%	5.3%	5.6%

「中期経営計画2027」を通じ、当社の目指すべき姿、及び戦略的推進事項を実行し、さらなる企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。

なお、使用するデータおよび表現等の欠落や誤謬につきましては、当社はその責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、本資料の無断複製・転載は、固くお断りいたします。

